



中村電設株式会社の取締役を務める中村良司。現場での作業を経験した後、現在の工程管理を担当ようになった。現場と社内、両方の業務に携わってきたからこそ、仕事に取り組む上で大切にしていることがあるという。これまでの軌跡をたどりながら、中村の仕事への思いを探った。

### 進むべき道を選択

自身が生まれる以前から続く中村電設。中村家の三男として生まれ、幼いころから会社の存在を身近に感じていたが、当初は自分が仕事に携わることまでは考えていなかったのだという。転機が訪れたのは、大学へ進学するタイミングだった。

「他の科もあったのに、選んだのは電気科でしたね」。

電気科に目が留まったとき、家業である中村電設の仕事に興味湧き、技術を学んでみようと思心する。技術や知識を習得していくうちに、仕事に携わりたいという思いは次第に強くなり、入社を決意したのだ。

### プレッシャーを乗り越えた先には

入社後は、現場の作業を担当することになり、現場のノウハウを先輩から学ぶ日々を送る。新しい知識が増えるたびにやりがいを感じながら、懸命に取り組んでいた。ところが、入社して1~2年経ったとき、教わっていた先輩が現場を離れることに。そのため、先輩に代わり、中村が新たに現場を取り仕切らなければならなくなったのだ。その期間は3か月。これまでは先輩と一緒に

作業をしていたため、大きな案件も問題なく完遂してきたが、一人で務めなければならない責任が重くのしかかった。自身も作業を行う中、他の社員の進捗状況も考えながら指示を出していくのは、決して容易ではない。肉体的な辛さに加えて、精神的にも負担を感じていた。

作業がスムーズに進むようにと試行錯誤する日々。なかなかうまくいかず、くじけそうになる日もあったが「逃げたらあかん、ここで逃げたらカッコ悪い」と自分に言い聞かせて、必死に仕事と向き合う。挑戦を続ける中で、周囲がサポートしてくれたのも励みとなった。そうして3か月取り組んだ結果、大きな事故もなく作業は無事に完了。この瞬間、やり遂げた達成感とともに得たものがあつた。

「仕事を担う責任感と、『頑張ればできる』という自信ができました」。

諦めない心を持ち続けたからこそ、自身の成長につながったと実感している。

### ともに働く仲間たちへの思い

現場を任せられ、成功を収めた中村は、次のステップへと進む。現在の仕事である資材の注文や工程管理を担当することが決まったのだ。これまでの業務とは異なるため、覚える内容も多く、毎日が目まぐるしく過ぎていく。特に工程管理は難しく、タイトなスケジュールを組んだために、「現場に無理をさせてしまった」と落ち込む日もあった。それでも、周りの皆がフォローしてくれたり、支えてくれたりしたおかげで、大きな変更もなく進めることができたのだ。

「一人では乗り越えることはできませんでした。仲間に恵まれていたのだと思います」。

業務を滞りなく進められるようになった今なお、周囲への感謝の念は尽きない。一緒に働く仲間がいる心強さは、仕事に取り組む原動力にもなっている。

### 働きやすい職場をつくりたい

「一番気をつけているのは、現場の皆に無理をさせないことです」。

今は現場から離れているものの、自身にも経験があるからこそ、働く社員たちの負担を軽減したいと考えている。そのためにも、無理のない工程となるように常に気を配り、仕事に取り組みやすい環境づくりは欠かせない。同時に、社員一人ひとりのプライベートの時間も大切にしたいと願う。残業ができるだけ発生しないよう、今後もスケジュール調整を心がけていくつもりだ。

社員が働きやすい環境を整えることが、ひいては会社のためにもなると信じて、中村の奮闘の日々は続く。自身の信念を胸に、これからも中村電設のため、そして仲間たちのために力を尽くしていくだろう。





# 俺の現場紹介

金尾さんが担当している電気関連工事をクローズアップ！怪我や事故に対する配慮、新しい設備を使いこなすスキルなど、大規模工事ならではの苦労ややりがい、今後の目標について語っていただきました。

## 現場概要

**名称:** 日本製鉄(株)瀬戸内製鉄所阪神地区における電気工事  
**場所:** 大阪府堺市、兵庫県尼崎市  
**期間:** 1日単位から数週間、数か月に及ぶ工事まで様々  
**人数:** 2、3名から10人

## 工事内容

阪神地区は他地区で銑鉄より帯状に引き延ばし、ロール状に巻き付けたコイルを船舶で堺の工場に運びます。その工場では、コイルに付いている錆を酸で落とし、圧延機でより薄く伸ばしてメッキを施し、指定の寸法に切り出すなどの加工を行っています。中村電設は、このような工場の設備に関わる電気工事全般を請け負っているのです。日鉄からの直接受注や、日鉄グループのエンジニアリング会社が元請けになり、その一次協力会社として日々仕事をしています。



かなお ともみ

金尾 知美さん

## 現場における印象的なエピソード

### 大規模工事ならではの設備操作は大きな経験

大規模な設備を動かすためには電気が必要ですが、使用量が大きいほど電気を供給するケーブルは太くなっていきます。スペースを取りますので、建屋の上のラックに敷設し、ケーブルは太いものになると1mあたり5kg。昔はその作業を10人以上の人力で行っていたのです。最近では、パワーボールという設備が、強い力でケーブルを引っ張ってくれます。押し上げたり、引っ張ったり、自由自在。ケーブルの先端と後ろで、無線で連絡を取りながら機械を操作するだけで、太いケーブルが収まっていきます。今回の工事ではこのような機械を使用する機会に恵まれ、非常に良い経験になりました。



## 作業をする上で、こだわっている点

### すべての工事の基本は怪我をしない、させない

作業の正確性や効率性なども大切ですが、それらすべてのベースは、怪我をしないで安全に仕事をするということ。気持ちとしては、怪我をしない、させない。事故や怪我を防ぐために心がけているのは、手指を保護するために耐切創手袋の使用を徹底すること。また、精神的な面も危険に繋がる場合があるため注意です。慌てているとき、イライラしているとき、まずは自分が落ち着いて、一呼吸ついてから作業を再開するようにしています。

## 今後の目標

### 若い社員がどんどん前へ出られる職場を目指す！

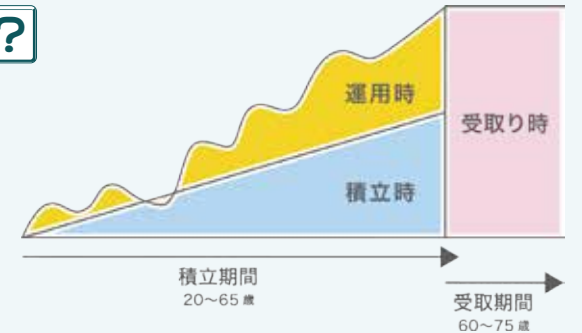
長期的な視点では、若い世代がどんどん前へ出て働くことができる、活気のある職場を作っていきたいと思います。そのためには私を含め、ベテラン社員が、若者たちを後ろから支えるというスタンスでやっていきたい。決して上から物言うのではなく、偉ぶらずに、皆で気持ちよく働ける職場を目指したいと考えています。

# 金融リテラシーを上げよう！ ～ 職場 iDeCo 編 ～

今回のテーマは「職場iDeCo」。前回ご紹介した新NISAは、いつでも引き出し可能な「少額投資非課税制度」でしたが、iDeCoは積み立てと運用により年金をプラスするもの。どのようなメリットがあるのか、見ていきましょう！

## そもそもiDeCoとは？

iDeCoとは、自分で決めた額（掛け金）を積み立てて運用し、60歳以降に受け取ることができる年金のこと。つまり、公的年金にプラスできる「もう1つの年金」であり、税制優遇が受けられるのが特徴です。最近では、従業員の資産形成を支援する「職場iDeCo」を導入する企業も増えつつあります。



## iDeCoを始めるメリットとは？

### 節税効果が高くなる

iDeCoのメリットはいくつかありますが、代表的なのは「積立期間中の税金が安くなる」こと。iDeCoで支払った毎月の掛け金は、すべて所得控除の対象。つまり年末調整を行う際、所得額から1年分のiDeCoの掛け金が差し引かれることで、所得税や住民税を減らすことができます。また運用が好調であるほど、将来受け取るお金が高くなるという見逃せないメリットも。

### 老後資産を蓄えられる

高い節税効果があることで、通常かかる税金分を老後資金に充てられます。また、積み立てたお金を受け取るときも節税できます。受け取り金額から退職所得控除・公的年金等の控除を受けることで、老後資金をプラスできるわけですが、上記2つの控除は同じ枠を使うため、上限があることを覚えておきましょう。iDeCoと退職金・年金を同時に受け取った際に上限を超える場合、超えた金額は非課税になりません。

## iDeCoを始める5つのステップ

### 1 加入対象者が確認する

まずは自分（従業員）がiDeCoの加入対象者かどうかを確認。中村電設の場合、正社員であれば全員が加入できます。ただし、個人で既に始めている方については対象外です。

### 2 掛け金を決定する

iDeCoは月5000円から掛け金を設定できます。5000円以降は1000円ごとに、加入資格に合わせた上限額内で設定が可能。無理に高い金額を掛け金とするのではなく、現実的に運用できる金額にしましょう。

### 3 金融機関を選ぶ

中村電設の場合、金融機関は基本的に、野村証券の職場NISA、iDeCoの制度を利用しています。



### 4 金融機関から書類を取り寄せ提出する

金融機関が決まったら、資料請求をして申込書類を取り寄せましょう。中村電設では、本社の総務部門が対応しています。会社員の場合は主に「個人型年金加入申出書」「事業所登録申請書兼第2号加入者に係る事業主の申請書」が必要となります。金融機関によっては運転免許証など公的証明書のコピー、住民票の写し、印鑑登録証明書などが必要になる場合も。また、一部の金融機関ではWeb上で手続きができます。

### 5 運用商品を選択する

幅広い商品の中から、運用しやすい商品を選びます。運用商品は、それぞれ特徴や仕組みが異なるため、しっかりと内容を理解してから選択しましょう。

